

## 四月よみとりおけいこ②（低学年）

### 名まえ（

今年のサクラは早くさいて早くちつてしまいましたね。今までで一ばんはやかったそうです。さて、今日はサクラのはなしをしてみよう。

そもそも、サクラとは、田んぼの神様がやどるところといういみなのだそうです。日本全国、サクラのさくじきはちがっても、たいていどこでも、サクラの花とともに米づくりがはじまります。

田うえは米づくりのはじまりではありません。まず、田んぼをたがやして、一方ではタネモミをまき、田うえのためのなえをつくらないといけません。そういったおしごとはサクラの花とともににはじまるというわけです。

そして、「お花見」といえば、サクラ。そう、「花」といえばサクラのことだったのです。今でも、花のしたでたべたり、のんだりする花はサクラぐらいのものです。

でも、うれしいきぶんになるだけではなく、花がさくころにおそれられることもありました。それは、いろいろなびようきなど。むかしは花がさくのとうどじにでんせんびようがはやるとかんがえられたので、今も今宮神社のやすらいまつりなど、でんせんびようをおさえるいみをもつおまつりがのこっています。

ところで、なぜがっこうの門のあたりにサクラがうえられたかというと、がっこうのしくみができたころのかがえかたがえいきょうしています。パツとさきパツとちるすがたがいさぎよいというので、日本が大日本帝国といわれたころ、軍人さんのがっこうにうえられたのが広まったのだそうです。今はそのようないみはもうありませんが、むかしは軍人さんのためにうえたりもしていたのです。おんどくサイン↓

① なんのはなしですか？

（

② そもそもサクラとはどういういみですか？

（

③ サクラがさきはじめると、しなければいけないおしごを二つかきましよう。十点×2

（田んぼを

（タネモミを

④ むかし「花」といえばなんの花でしたか？

（

⑤ むかしサクラがさきはじめると、やはりはじめるとかんがえられていたものはなんですか？

（

⑥ でんせんびようをおさえるいみをもつおまつりはどこのなんというおまつりですか？五点×2

どこの？

なに？

（

（

（

⑦ 軍人さんはサクラのどんなようすをいさぎよいと思ったのですか？

（

（

⑧ あっている文に○をつけましよう。

（）サクラをすきな人はたたかいがすきである。

（）田うえが米づくりのはじまりだ。

（）お花見の花といえばサクラの花だ。

⑨ おもったことを四行にまとめましよう。

できばえは？

